

いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災



令和7年12月24日  
大気海洋洋部

## 2025年（令和7年）の天候のまとめ（速報）

- 2025年の天候について、11月までの状況をもとに速報としてまとめました。
- 日本の年平均気温及び日本近海の年平均海面水温はいずれも、2024年（1位）、2023年（2位）に次いで3番目に高い値となる見込みです。北・東・西日本では夏の平均気温、沖縄・奄美では秋の平均気温がそれぞれ1位の高温となりました。
- 世界の年平均気温も、2024年（1位）、2023年（2位）に次いで3番目に高い値となる見込みです。

### ○日本の天候等について（別紙1-1、1-2参照）

#### 【気温】

- ・ 2025年の日本の年平均気温偏差<sup>1</sup>は+1.25°C（1~11月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した1898年以降、2024年（1位）、2023年（2位）に次いで3番目に高い値となる見込みです（図1）。特に、北・東・西日本では、北日本を中心に暖かい空気に覆われやすかったことから、これらの地域の年平均気温はかなり高くなる見込みです。
- ・ 季節で見ると、今年の夏は顕著な高温となり、北・東・西日本では統計を開始した1946年以降、それぞれ1位の高温となったほか、全国153の気象台等の観測のうち、北海道から九州にかけて広く132地点（9地点のタイ記録を含む）で、夏の平均気温が1位の高温となりました。また、沖縄・奄美では、秋の平均気温が1位の高温となりました。

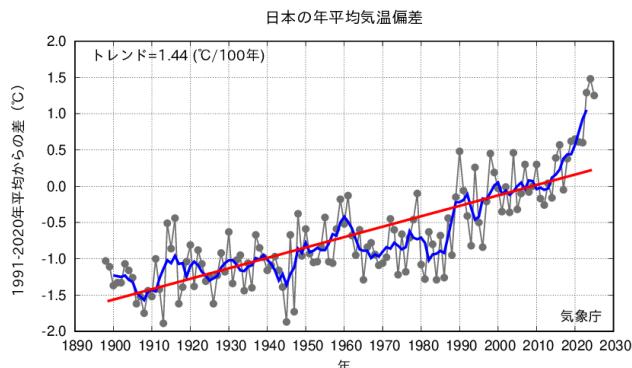
#### 【海面水温】

- ・ 2025年の日本近海の年平均海面水温の平年差は+0.96°C（1~11月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した1908年以降、2024年（1位）、2023年（2位）に次いで3番目に高い値となる見込みです。海域別に見ると、東シナ海と黄海では、年平均海面水温が2024年（1位）に次いで2番目に高い値となる見込みです。

#### 【降水量】

- ・ 東日本太平洋側では、冬と夏から秋に低気圧や前線の影響を受けにくかったため、年降水量はかなり少なくなる見込みです。

<sup>1</sup> 日本の年平均気温偏差：観測データの均質性が長期間確保でき、かつ都市化等による環境の変化が比較的小さい地点から、地域的に偏りなく分布するように選出した15地点について、それぞれの気温の30年平均（1991-2020年）を基準とした偏差を求め、それらを全地点で平均した値。

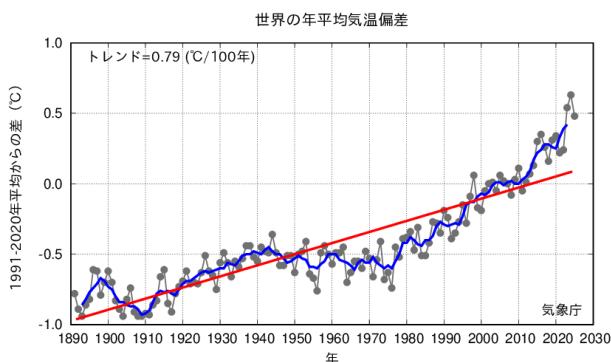


日本		
順位	年	気温偏差 (°C)
1	2024	+1.48
2	2023	+1.29
<b>3</b>	<b>2025</b>	<b>+1.25</b>
4	2020	+0.65
5	2019	+0.62

図1 日本の年平均気温の経年変化（1898～2025年）と順位表（上位5年）。黒線は各年の偏差（1991～2020年平均からの差）、青線は偏差の5年移動平均値、赤線は長期変化傾向を示す。2025年は1～11月の期間から算出した速報値。

### ○世界の天候について（別紙2-1、2-2参照）

- 2025年の世界の年平均気温偏差は+0.48°C（1～11月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した1891年以降、2024年（1位）、2023年（2位）に次いで3番目に高い値となる見込みです。
- 世界各地で異常高温が発生し、各国の月平均気温や季節平均気温の記録更新が伝えられました。また、ネパール～パキスタンの大雨（6～10月）、米国テキサス州の大雨（7月）、東南アジアを中心とした地域での大雨（11月）など、世界各地で気象災害が発生しました。



世界		
順位	年	気温偏差 (°C)
1	2024	+0.63※
2	2023	+0.54
<b>3</b>	<b>2025</b>	<b>+0.48</b>
4	2016	+0.35
5	2020	+0.34

図2 世界の年平均気温の経年変化（1891～2025年）と順位表（上位5年）。黒線は各年の偏差（1991～2020年平均からの差）、青線は偏差の5年移動平均値、赤線は長期変化傾向を示す。2025年は1～11月の期間から算出した速報値。

※世界の年平均気温偏差の2024年の確定値に誤りがあったため、気象庁ホームページに掲載している図表・データを修正しました（令和7年12月24日）。

本資料は、日本の天候については 2025 年 12 月 20 日まで、日本と世界の平均気温、日本近海の海面水温及び世界の天候については 11 月までの状況を速報としてまとめたものです。確定値に基づく情報は、2026 年 1 月以降、気象庁ホームページにおいて順次公開します。また、このような天候をもたらした大気・海洋の特徴について、今後開催予定の異常気象分析検討会でまとめる予定です。

内容に関する問合せ先：電話 03-6758-3900（代表）

・日本の天候等について

(日本の年平均気温) 気候情報課 高橋（内線 4542）

(日本近海の年平均海面水温) 環境・海洋気象課 笹野・川村（内線 4682・4679）

(各地の観測データや統計) 観測整備計画課 辻（内線 4278）

(天候の要因) 気候情報課 及川（内線 4548）

・世界の天候について

(世界の年平均気温) 気候情報課 高橋（内線 4542）

(世界の主な異常気象・気象災害) 気候情報課 藤川（内線 4541）